勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2017年　第163号　平成29年9月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事　対談！勝浦ライフセービングクラブと市　議　会

特集（対談）　２・３Ｐ
審議結果（トピックス）　４・５・８Ｐ
委員会活動等　６・７Ｐ
一般質問　９～１３Ｐ
きみの未来、あなたの未来　１４Ｐ
議会のうごき　編集後記

平成29年11月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦ライフセービングクラブと市議会

特集記事第12弾は、勝浦ライフセービングクラブの皆さんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？

代表
山本 利春　先生

こういう時間をもっと作っていただきたいし、もっと足を運んでいただきたいです。

【勝浦ライフセービングクラブとはどのような団体ですか？】

勝浦の夏季海水浴場の監視活動及び事故防止の業務を、勝浦市から委託を受けて、担当しています。元々国際武道大学ライフセービングクラブは、約30年前に立ち上がり、平成2年から市の依頼を受け、海水浴場の監視活動をしています。広範囲でもあり、大学生だけでは人数が足りないとの状況があり、武道大学の学生だけではなく、社会人を含めた複合チームで、もう一つクラブを作り、勝浦ライフセービングクラブとして、十数年活動をしています。房総半島でも最も古い歴史を持つ、1番最初にできたクラブです。ライフセービング競技の成績は、平成23年に全日本選手権で、日本一になりました。救助力を競う大会で、チームで日本一になるということは、勝浦のビーチは日本一救助力の高いチームが守っているわけで、日本一安全ということになり、勝浦市のPRにもなります。日本代表クラスの選手の揃っているクラブとして、もっと注目を集められるように、取り上げてくれたらと思います。

現在はジュニアライフセービングで、子ども達の教育活動を中心としたライフセービング活動もしています。

【ライフセービングの活動以外には、どのような活動をしていますか？】

夏季海水浴場の開設期間にライフセーバー達が、毎日約40名弱、各海水浴場で、海の監視活動を担当していますが、それを迎える前に様々な訓練や、トレーニングをしたり、地元の消防、警察等々と連携をしながら、準備を重ねます。地元消防署と事前に有事の時を想定した訓練やコミュニケーションを取ることができているのは、房総半島ではここだけです。教育というキー

ワードで、ジュニアライフセービングで伝えているのが、危ないから遠ざけるではなく、どうしたら安全に遊べるかを、自分で自分の身を守る体験を通して、自然環境や、人との繋がりをどう育成していくかということと、スポーツを中心に、楽しくやることによって、チームワークに意識を向けていってもらいたいと考えています。

【活動でたいへんなことは？】

一番苦労したことは、人に物事を伝える、伝え方という面で苦労していまして、夏の監視活動でもやはり遊泳区域ではない所で泳いでしまう方もいますので苦労しています。

【皆さんが考えるこの地域の課題は？】

ライフセービングが非常に盛んなオーストラリアでは地域クラブが中心です。勝浦に住んでいる人たちが、ライフセーバーとして、自分たちの街を、自分たちで守るための活動の拠点となる、クラブハウスが欲しいです。

【地域活性化のために考えている事業はありますか？】

子ども達の教育としてライフセービングを定期的に授業に取り入れたら、未来にライフセーバーが増えたり、活性化に繋がるのではないかと思います。

ライフセービング競技は、大人もそうですが、子ども達の普段の練習の成果を発揮するようなイベント、大会が、全国的にも少なく、もし勝浦市で誘致してできるのであれば、町おこしの一つ、ライフセービングを知ってもらうきっかけにもなりますので、勝浦の海岸でライフセービングや、マリンスポーツのイベントをやることもいいかなと思います。

【市議会や議員のイメージは、望むことは？】

会う機会が少ないので、何をしているのか分からない点と、もう少しいろいろな所に出てきていただければ、議員さんからもこういうことをしたい、海に入りたいと言ってくだされば、是非ライフセービングをやりますので、接する機会がもっと増えればいいなと思います。この対談の機会が、自分達の活動をＰＲできる場でもあり、こういう時間を、もっと話す機会を欲しいなと思います。正直近寄り難い、お堅いイメージがあったので、こういう時間をもっと作っていただきたいし、もっと足を運んでいただきたいです。

本部長
篠田 智哉さん

ジュニア担当
青木 智輝さん

榎本 宏暉さん
国際武道大学４年生

喜瀬　知有良さん
国際武道大学２年生

平成29年9月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会議　会期　9月4日から9月19日まで　16日間

●今回審議された議案

市長提出議案	17件
議員提出議案	0件
陳情	0件
請願	0件
諮問	0件
合計	17件

※審議案件一覧表は、8ページに掲載しています。

議会報では、議会中審議された全ての議案の中から、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス　その1

郁文小学校と勝浦小学校との統合が決まりました。

議案第三十五号
勝浦市立小、中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

平成三十一年四月一日に勝浦市立郁文小学校が勝浦市立勝浦小学校と統合することに伴い、本条例について所要の改正をしようとするものです。少子化による生徒数減少という状況下において、教育の質の維持・向上のため統合が検討されていましたが、今議会で議決の運びとなりました。これにより、勝浦市内の小学校は平成三十一年四月一日以降、勝浦小、豊浜小、興津小、上野小、総野小の五校となります。

郁文小学校

●トピックス　その2

観光案内所、カッピービジターセンターの運営主体が指定管理者に変わります！

議案第三十八号
勝浦市観光案内所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第三十九号
勝浦市観光交流施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について

市では、公の施設の管理運営に民間活力を反映させることで、利用者の皆様へのサービスの向上と経費の削減を目的に、勝浦駅前・鵜原駅前・興津駅前の各観光案内所と勝浦市観光交流（カッピービジターセンター）施設の運営を指定管理者に委任することになりました。

指定期間は平成三十年四月一日から平成三十五年三月三十一日までの五年間となります。

●トピックス　その3

クリーンセンター等の修繕や学校敷地内の安全整備の推進！

議案第四十九号　平成二十九年度勝浦市一般会計補正予算

今回の補正予算では、衛生費においてクリーンセンターと衛生処理場の管理運営に係る修繕料や、教育費において勝浦小校舎裏の崖崩落対策工事・勝浦中校舎階段の手すりの設置・勝浦中プール建設事業に関わる費用等が計上されました。総務文教常任委員会では、各現場の視察を行い、これら施設の老朽化や校舎内外の現状把握を行いました。

クリーンセンター管理運営経費
　三千六百三十八万六千円
衛生処理場管理運営経費
　二千九百三十五万八千円
勝浦小敷地内法面崩落対策工事費
　三千五百三十七万九千円
勝浦中校舎階段手すり設置工事費
　百四十万円
勝浦中学校プール建設事業
　一千二百六十三万六千円

クリーンセンター視察の様子

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

議案第 41 号　平成２９年度一般会計予算の審査にあたり、勝浦市クリーンセンター及び衛生処理場の現地視察を行いました。

現地視察の様子
上段　クリーンセンター
下段　衛生処理場

総務文教常任委員会に付託され、審査にあたりクリーンセンター（給水施設修繕工事・ごみ処理施設修繕）及び衛生処理場（修繕料）の現地視察を行いました。

委員会審議では、海外都市交流促進事業についての時期や規模等の内容について質疑が行われ、採決の結果、賛成少数により、補正予算は否決されました。これを受け、市長より議案第 41 号の撤回についての申し出があり、最終日の本会議において撤回は承認されました。

その他に付託された、議案第 33 号ないし議案第 35 号及び議案第 40 号の条例等 4 件については、最終日の本会議において、総務文教常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により「可決」となりました。

産業厚生常任委員会

議案第 36 号ないし議案第 39 号の条例 4 件及び議案第 42 号平成 29 年度勝浦市介護保険特別会計補正予算について、産業厚生常任委員会に付託され、審議の結果、最終日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により付託された条例 4 件と介護保険特別会計補正予算について「可決」となりました。

決算審査特別委員会

平成２８年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、以上４件の歳入歳出決算、水道事業会計の利益の処分及び決算を審査するため、６人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、９月１３日及び１４日の２日間、平成２８年度の予算執行、財政運営、行政効果などを審査し、５会計については、いずれも賛成多数（賛成４、反対１）で、それぞれ認定、原案可決及び認定すべきものと決定し、本会議に委員長から報告され、いずれも賛成多数（賛成 14、反対 1）で、それぞれ認定、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委　　員
佐藤　啓史	高梨　弘人	土屋　元　　照川　由美子 戸坂　健一　藤本　治

決算審査特別委員会での主な質問

Q　ふるさと応援基金の来年度以降の活用の見通しについて。
A　返戻品の充実、見直しを図る等、努力し、事業の優先順位を充分考慮しながら財源を確保したい。
Q　不妊治療費助成金事業について、この制度を活用しての実績は。
A　平成２８年度は、この制度を９組利用され、その内３組妊娠されたとの届出がありました。

討論　原案を賛成多数で認定（賛成 14、反対 1）

認定に賛成　高梨　弘人　議員

わたしは今回の議案について不妊症治療費事業・多子世帯保育所保育料助成事業・上野小学校校舎大規模改修事業や各小中学校の施設等修繕・シティプロモーション事業・鵜原理想郷公衆トイレ改修工事・災害用物資等備蓄事業・市民福祉の向上と限られた財源を有効活用し経費の節減・合理化に努めつつ各種事業が展開されたものと考え賛成の立場で討論をいたしました。

認定に反対　藤本　治　議員

県営水道との統合により受水費が引き下がるまでの５・６年の間、一般会計からの繰り入れ５０００万円と県の高料金対策補助金５０００万円の合計１億円を財源に水道料金の引き下げを行うべきです。市民負担の軽減のため繰り入れを行うことは近隣の市町村ではあたり前に行っています。（部分紹介、全体は議事録参照）

決算審査特別委員会の様子

関係諸帳簿及び証書類検査

●審議案件一覧

◎全会一致　○賛成多数　×賛成少数

結　果	議案番号	件　　名
可決◎	議案第３３号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３４号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３５号	勝浦市立小、中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３６号	勝浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び勝浦市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３７号	勝浦市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３８号	勝浦市観光案内所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第３９号	勝浦市観光交流施設設置管理条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第４０号	千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
撤回承認◎	議案第４１号	平成２９年度勝浦市一般会計補正予算
可決◎	議案第４２号	平成２９年度勝浦市介護保険特別会計補正予算
認定○	議案第４３号	決算認定について（平成２８年度勝浦市一般会計歳入歳出決算）
認定○	議案第４４号	決算認定について（平成２８年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算）
認定○	議案第４５号	決算認定について（平成２８年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）
認定○	議案第４６号	決算認定について（平成２８年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算）
可決及び認定○	議案第４７号	利益の処分及び決算認定について（平成２８年度勝浦市水道事業会計決算）
同意○	議案第４８号	勝浦市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
可決◎	議案第４９号	平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算

市政のココが聞きたい 一般質問

9月6日・7日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

9月6日

高梨　弘人議員	①オリンピック・パラリンピックへの本市の関わりについて ②本市における観光への取り組みについて ③市営プールの必要性について
照川　由美子議員	①男女共同参画社会の実現に向けて～行政・防災・教育の視点から～
久我　恵子議員	①乳がん健診について ②健康マイレージについて ③大型店舗出店に伴う中央商店街及び朝市の今後について ④プラットフォーム事業について
佐藤　啓史議員	①教育課題について ②住宅リフォーム助成事業について
藤本　治議員	①道の駅整備事業について ②総野園の将来構想と特別養護老人ホームの整備拡充について ③非核平和宣言都市の取り組みについて ④ゴミ袋代値下げとゴミの減量化について ⑤国保の都道府県単位化について

9月7日

土屋　元議員	①勝浦市観光地再生戦略について ②商店街の活性策について
鈴木　克己議員	①高齢者福祉と介護保険事業及び障害者福祉事業について ②在宅医療と介護の連携 ③保健福祉センターについて ④勝浦市要援護者避難支援について
磯野　典正議員	①防災対策について ②インバウンド観光への体制整備について
戸坂　健一議員	①草の根技術協力事業（地域提案型）への応募による国際交流促進・職員人材育成について ②「図書館福袋」の実施について

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

高梨弘人議員

オリンピック・パラリンピックへの今後の関わりについて、お聞きします

Q 大型宿泊施設を含め、多数の宿泊施設があります本市と大会会場をシャトルバスで結び、大会関係者及び大会観覧者をピストン輸送にて送迎したらいかがか？

A オリ・パラ観光客の受け皿として機能するためには、シャトルバスの運行は有効な手段と考えます。

オリ・パラ開催に伴うインフラ整備について お聞きします

Q 大勢の方が本市を訪れた場合、訪れた方が困らないような、また不快に感じないような道路整備、トイレや休憩所の設置が必要と考えます、また本市におきましては遠見岬神社や八幡岬、鵜原理想郷といった名所・古跡、文化財がございます、外国人の方への観光案内等も含め、さまざまな面からのインフラ整備に対し、どう考えているか、お聞きします。

A 必要に応じて新たな施設の整備についても検討してまいります。

本市における観光への取り組みについて観光振興議員連盟との連携について、お聞きします

Q 昨年、結成された観光振興議員連盟について、どのよう御理解されているか、お聞きします。

A 市議会議員の全員が参加されております観光振興議員連盟が、本市の基幹産業の一つであります観光をさまざまな面で応援していただいている事に対し、大変心強く思っているところでございます。

市営プールの必要性について

Q 市民一人ひとりの健康づくりが大切だと考えております、そういった中で心肺機能の強化や体力増強にも水泳がよいとされていますが市営プールの必要性について、お聞きします。

A 現在、屋外スポーツ施設の整備を進めているところであり本市の財政状況等を考慮すると市営プールの建設は現在のところ困難であると考えております。

照川由美子議員

『男女共同参画社会の実現』に向けて ～行政・防災・教育の視点から～

Q 男女が共に子育てしやすい環境を目指し、子育て支援事業等への男性参画をどのように促していくのか伺います。

A 保健事業や子育て相談・こども館事業等、男性がもっと参加できる環境を整えるよう検討します。事業や講座等の開催時に共同参画の意識高揚に向けた情報を発信し、男女共同参画を明確に示せるような部分を取り入れる必要があると感じています。

Q 三年後、認定こども園が開設されようとしている現在、妊娠・出産から、小中学校までの子どもに関する部署を包括した新たな課の設置について検討できるかどうか伺います。

A 介護健康課や福祉課で行っている関連業務を一つの係にすることは可能ですが、フロアスペースの問題やシステムの改修等、様々な課題があります。現在すべての課で業務の見直しを図っており、今後は子育て支援を充実できるような係の設置について検討してまいりたいと考えます。

Q 震災における国の調査結果等を把握して本市の施策に生かすと共に、女性や乳幼児、高齢者等に配慮した災害用備蓄整備について伺います。

A 震災対応調査では男女共同参画の視点からのニーズを把握できなかった等の反省を基に、本市では内閣府の指針を踏まえながら第二次男女共同参画計画を改訂してまいります。また、紙おむつや粉ミルク、女性用生理用品等の備蓄にも努めたいと考えます。

Q 現在策定中の「教育大綱」は男女共同参画教育の視点があるのか、意識の醸成に向けての取り組みについて伺います。

A 教育大綱基本方針の二「豊かな心と自己実現を図る力の育成」に組み入れ、人権教育等の充実を図ります。また、教職員を対象にした本視点での研修の実施に努めたいと考えます。

出産時には母子・父子手帳を配布

久我恵子議員

乳がん健診について

Q 日本人女性の半数以上の人が、乳がん健診のマンモグラフィー検査においてがん細胞と同じく乳房全体が白く写る「高濃度乳房」体質といわれています。がん細胞と見分けがつけづらい「高濃度乳房」であることは受診者には知らされません。見逃しリスクを無くす為にも乳房タイプを知らせるべきと思うが、お考えをお聞かせください。

A 「高濃度乳房」は疾病ではなく体質である。「高濃度乳房」とは何なのか、知らせを受けたら何をすればよいのか等受給者に対して情報提供できる体制を整える等良い方法を検討していきたいと考えています。

健康マイレージについて

Q 健康マイレージ事業の進捗状況をお聞かせください。

A 市は健康づくりに取り組む自主組織設立を促し、運営に必要な資機材を提供、貸与する予定です。組織の運営や参加活動されている方に勝浦奉仕会協同組合のマイカードポイントをインセンティブとしてを提供したいと考えています。

大型店舗出店に伴う中央商店街及び朝市の今後について

Q 来年春に大型店舗出店が予定しているが、その影響について客観的に捉える必要があると考えるが、お考えをお聞かせください。

A 消費者の動向を客観的に捉え現状を把握、分析し次の商業振興策を検討する為スマートフォン等を活用した消費者動向を関係機関と協議、検討していきたい。

プラットフォーム事業について

Q ８月にプロフェッショナル人材が着任しましたが、観光を絡めた商工業の活性化に対しどのような活用を考えているのかお聞かせください。

A 朝市や商店街の自慢の商品を観光の素材として紹介、開発。観光客が朝市や商店街エリアでの滞在時間が長くなるよう商店街の空き店舗を商店街と連携した観光拠点として構築してゆく仕事もお願いしている。

佐藤啓史議員

教育環境の整備

Q ①学校トイレの洋式化は？②学校のエアコンの設置は？③校庭の土壌改良は？

A ①平成22年度に各フロアに洋式便器を1台ずつ設置した。今後は使用状況を含めて検討したい。②近年の異常気象等の状況を踏まえ検討したい。③勝浦小学校から、校庭・グランドの砂の補充について要望がある。

防犯・防災対策

Q ①不審者侵入対策等防犯対策と防災訓練・避難訓練の実施状況と今後の課題は？

A ①災害、不審者対策等の避難訓練の実施及び地域・関係機関と連携し、安全対策に努めたい。

中学校の部活動

Q ①外部指導員の導入の考えは？②練習場の確保はできているか？③任意加入の考えは？④支援強化は？

A ①外部指導員の導入について推進を図っていきたい。②体育館の部活動では互いに協力・調整を図っている。③全員加入制を継続したい。④クラブ活動補助金、体育大会等出場補助金を予算措置し支援に努めている。

登下校について

Q ①中学生の通学割合は？②自転車通学のヘルメットの支給と処分は？③通学路の交通危険個所と不審者出没箇所の把握は？

A ①徒歩163名、バス81名、電車44名、自転車21名。②保護者負担。③交通危険個所については具体的な対策案をまとめている。不審者出没箇所については勝浦警察署と情報の共有に努めている。

教育課題について

Q ①国際武道大学と連携した知育、体育の充実について②教科ごとの習熟度別授業の実施の考えは？

A ①先月国際武道大学と協議を開始した。②生徒の学力向上を図る目的で、ティームティーチング、少人数指導、習熟度別授業が検討、実施されるものと考える。

住宅リフォーム助成事業について

Q 住宅リフォーム助成事業の来年度の実施を要望するが？

A 実施について検討したい。

藤本治議員

道の駅整備事業

Q 基本計画・事業手法検討調査業務委託は次にどのようなステップに進むためのものであるか。

A PFI等を含む実施方針を策定し、それに沿い事業者の募集・選定を行う。

Q 基本機能に加え勝浦の道の駅が目的地として選ばれる機能やコンセプトは何か。

A 調査をかけている事業者の意向と市の意向を調整して実施計画を取りまとめる。

総野園の将来構想

Q ①将来構想検討委員会の審議内容。②市に建替えの意思はないのではないか。③民間に委譲したら事業の継続性はどうなる。

A ①民間への委譲に全委員が賛成で終了。②建替えの計画は市としてはない。③委譲後、10年間は事業継続の条件をつける。

非核平和宣言都市

Q ①国連での核兵器禁止条例採択への市長の受けとめは。②被爆地へ児童・生徒の代表を派遣し、その成果を勝浦市平和展に反映してはどうか。

A ①本市の非核平和都市宣言と軌を一にするもの。②平和展の開催主旨や内容を理解していただいた上で、被爆地への派遣を検討したい。

ゴミ袋代値下げ

Q ①勝浦市のゴミ袋代は近隣でずば抜けて高いとの認識があるか。②ゴミ袋代の末端価格を変更する手続き。③1トリップ40円の証紙の金額を24円にすれば近隣なみに一袋50円にできるがどうか。

A ①勝浦市は証紙方式により処理手数料を徴収し、業者による袋の製造・販売経費、これを含めて販売価格となっている。ほかの市町は定額500円で、その製造・販売については市の負担になっており、消費者の負担に670円と500円の差があることは認識しています。②出荷管理表の額面を変更することにより可能です。③方法はそうですが、変える考えはありません。

特別養護老人ホーム総野園

土屋　元議員

勝浦市観光地再生戦略について

Q 地域の宝を生かした賑わいのある街づくりは、どのような使命と成果を目的としているのか？

A 観光地再生戦略は、本市の魅力を生かした観光振興戦略を、より具体的に策定推進することにより、観光客数・消費額の拡大を目指しています。

Q 具体的な数値目標をどのように考えているのか？

A 観光入れ込み客数目標を平成三四年度で123万2千人としています。

Q 観光資源・魅力としてお勧めしたいものはどのように？

A アンケートによると市民がお勧めしたい観光資源・魅力の上位は、「遠見岬神社」「勝浦ビッグひな祭り」「勝浦タンタンメン」「勝浦海中公園センター」「キンメ鯛」などでありました。

Q 観光客が増えるためにはどのようなことが必要なのか？

A 「朝市の充実」「駐車場を充実させる」「地元の特産を生かした食事・お土産の提供」が上位でした。

Q 勝浦市観光の主な課題についてどのように認識しているのか？

A 「海水浴など従来の観光スタイルに頼らない観光振興が未成熟であること」「旅行会社が商機としている春の受け入れ態勢が未成熟」「宿泊客が減少していること」「市内での滞在時間が短いこと」「勝浦タンタンメン以外のブランド力がある食が少ないこと」

Q 再生戦略の考え方、基本原則をどのように考えているのか

A 「朝で勝つ」「食で勝つ」「交流で勝つ」この3つの「勝つ方針」を中心に戦術を組み立てたいと考えています。

商店街の活性化策について

Q 商店街の活性化のために空き店舗を活用し、街中交流拠点施設づくりが早急に必要と思うが見解は？

A 観光協会に委託した事業の推進で可能性があると思います。

「食で勝つ」の切り札。キンメダイ

鈴木克己議員

高齢者福祉と介護保険事業及び障害者福祉事業について

Q 認知症高齢者対策の取組状況について伺う。

A 認知症初期集中支援チームを設置し、疑いのある場合は、訪問確認、医師等の指示のもと受診勧奨などを実施している。

Q 若年性認知症対策の現状は。

A 高齢者の認知症と違った対応が必要なため、個々の状況により対応している。

Q 徘徊高齢者等ＳＯＳネットワークの体制整備と、家族支援のためのＧＰＳ装置付機器貸付等について検討されては如何か。

A 県内で実施している市町村もあるため調査検討をしてまいります。

Q 福祉タクシー事業を、高齢者や要介護認定者等も対象とした制度に拡充することを求めるものですが見解は。

A 来年度からの高齢者福祉計画の中で判断し検討します。

在宅医療と介護の連携

Q 在宅医療連携拠点事業の取組みと、在宅医療と介護の連携など地域支援事業への推進状況について伺う。

A 高齢者の増加とともに病気を持ちつつも可能な限り住み慣れた場所で自分らしく過ごす「生活の質」を重視する医療が求められており、平成30年度から事業を行ってまいります。

保健福祉センターについて

Q 元勝浦消防署を改築し開設してから相当な年数が経過し老朽化しており元若潮高校への移転も検討しているようですが、来年度以降の運営についての考えは。

A 現在の建物等を継続して使用する方針で指定管理により運営する。

Q 老朽化している建物の安全対策と、地震、津波等災害対策への対応は。

A 屋上の防水工事や空調修繕などの補修を行った。今後も安全対策や津波避難訓練等を実施し対応する。

保健福祉センター

磯野典正議員

防災対策について

Q 災害時のドローンによる捜索や被害状況の把握など、有事の際に安全で効率的な捜索活動等が出来るようドローン協会との提携が今後必要であると考えるが？

A 災害時以外のドローン活用も含め検討する。

Q 現在の避難訓練から、【命を守る訓練】とし講演会等の開催や自主防災組織、市民の防災意識向上をあらためて進めてほしいと考えるが？

A 最近では自助・共助・公助に加え、【近助】という言葉が出てきている。改めて防災に関する意識向上を考える。

ドローンを使った防災訓練の様子

インバウンド観光への体制整備について

Q WiFiスポットの整備について市はどのように考えているか？

A 現在市内3箇所に設置しているがいずれも屋内のため今後県の補助メニューなどを活用し設置を検討する。

Q 訪日外国人が何を期待し日本に来ているかの上位は『食』・『自然』・『だといわれている。また、各店舗でのカード決済・両替所なども今後のキーとなってくる。その他に細かなサービスとして荷物の預かりサービスをしている自治体もあるが勝浦市ではこのようなサービスを行なっているか？

A レンタルサイクリング貸し出し時にはコインロッカーを用意し対応している。

Q インバウンドに力を入れていくために岐阜県高山市のように『海外戦略班』のような新たな部署を設置してはどうか？

A 組織をインバウンドに合った形にするのは確かに良い。来年の組織を見直す時に検討材料に入れたいと思う。

飛騨市の里山サイクリング

戸坂健一議員

図書館福袋の実施について

Q 全国の図書館で「本の福袋」が人気を集めています。

これは、本が複数入った「本の福袋」を図書館が作成し、利用者に貸し出すシステムです。

事業の意図としては、利用者減に悩む自治体図書館として、いつもと違う分野や作家の本を手にしてもらい、草の根で読書の習慣や図書館ファンを増やしていこうとするものです。勝浦市でも図書館福袋事業を実施すべきと考えますがいかがでしょうか。

A 「本の福袋」は読書の可能性を広げるきっかけになりうる。福袋を提供する機関や数、事務手続、利用者の声などを検証し、前向きに導入を検討していく。

草の根技術協力事業への応募による国際交流促進・職員人材育成について

Q 草の根技術協力事業は、国際協力の意思を持つ市町村が、開発途上国を対象とした協力活動を国際協力機構のもとで行う事業で、事業費の殆どが国から支援されます。

事業の目的には、国際協力、人材交流・インバウンドの拡大・派遣元自治体職員の人材育成といった側面もあり、千葉県内でも南房総市などがこの制度を活用しています。勝浦市もこの制度を活用し、国際化や人材育成を図るべきでは。

A 今後はこの制度を活用している自治体の例を参考にし、調査していく。

Q 市の財政が厳しい中で、職員の見識を広げ国際化の時代に対応するためにも、こうした事業を積極的に活用していくべきではないでしょうか。

A 現在の業務の状況などを踏まえた中で、今後いかに改革的な人材育成ができるか、ということも踏まえ、検討していきたい。

南房総市が立ち上げに
携わったベトナムの道の駅

きみの未来、あなたの未来

勝浦中学校　１年

平松　彩夢さん
ひらまつ　あ　み

私の将来の夢は、保育士になることです。なりたい理由は、子どもたちを笑顔にしたいからです。みんなが笑顔になれば、ずっと平和でいられると思います。平和で穏やかな気持ちで生活できれば、思いやりの心も育っていけると思います。

私が保育士になりたいもう一つの理由は、人と人との関係をもっと深めたいからです。保育士は、子どもの面倒をみるだけではないそうです。保護者の方々、先生方との人間関係もとても大切だそうです。子どもたち一人一人には、それぞれの個性があり、その子たちに見合った指導をしていかなければならないそうです。

これから、たくさんのことを学んで、少しずつ、自分の夢へ近づいていきたいと思います。

議 会 の う ご き

議会のうごきについて報告します
（平成２９年８月～平成２９年１０月まで）

８月　１日	議会報編集委員会
２日	水道事業運営審議会
１２日	若潮まつり花火大会
２１日	千葉県南部地区議会道路整備協議会要望活動（東京都）
２５日	いすみ鉄道対策協議会（大多喜町）
２６日	全国ふるさと甲子園（東京都）
２８日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会（いすみ市）
３０日	議会運営委員会
９月　４日	本会議 議会改革検討委員会
６日	本会議　一般質問
７日	本会議　一般質問
８日	本会議　質疑
１１日	総務文教常任委員会
１２日	産業厚生常任委員会
１３・１４日	決算審査特別委員会
１９日	本会議　最終日 議会改革検討委員会・議会報編集委員会
２１日	交通安全運動出動式
２７日	上野地区敬老会
１０月２日	観光協会設立総会
４日	議会報編集委員会
１１・１２日	観光振興議員連盟行政視察（長野県上田市・東京都西東京市）
１２日	千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
１７日	国道２９７号整備促進期成同盟要望活動（千葉市） 議会報編集委員会
１８・１９日	産業厚生常任委員会行政視察（栃木県那珂川町・茨城県常陸太田市・大洗町）
２３日	後期高齢者広域連合全員協議会
２４日	観光商工審議会
２５・２６日	総務文教常任委員会行政視察（長野県塩尻市・小諸市）
３１日	介護保険運営協議会
３１日・１１月１日	全国漁港漁場大会（岩手県）

お知らせ

本年５月に暴行容疑で現行犯逮捕された、寺尾重雄議員について、新聞報道のとおり、千葉地検は９月１５日付けで不起訴処分としました。

編 集 後 記

より良い議会だよりを目指し紙面を刷新してから、すでに２年半が過ぎようとしています。市民の皆さんに親しまれる議会だよりにしていきたいと思いますので、改善点やご要望がありましたらお気軽にご連絡ください！

議会報編集委員会副委員長　戸坂　健一

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会（７３－６６６２）まで

勝浦市ホームページ　http://www.city.katsuura.lg.jp